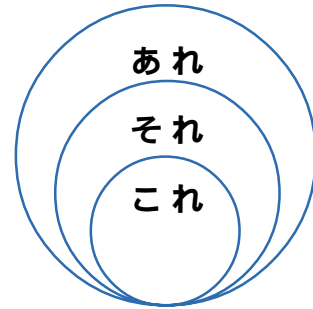


[ 図 1 ]

はな て  
: 話し手  
き て  
: 聞き手



[ 図 2 ]

基 本

例 文

① <sup>にほんご きょうかしょ</sup>これは日本語の教科書です。

② <sup>にほんご じしょ</sup>日本語の辞書はそれです。

③ <sup>たいいくかん</sup>あれは体育館です。

④ A: <sup>にほんご なん</sup>(日本語で何というかわからないとき)

それは何ですか。

B: はしです。

⑤ A: <sup>せんせい ものし</sup>(先生が持ち主のわからない辞書を生徒に  
<sup>み</sup>見せながら)

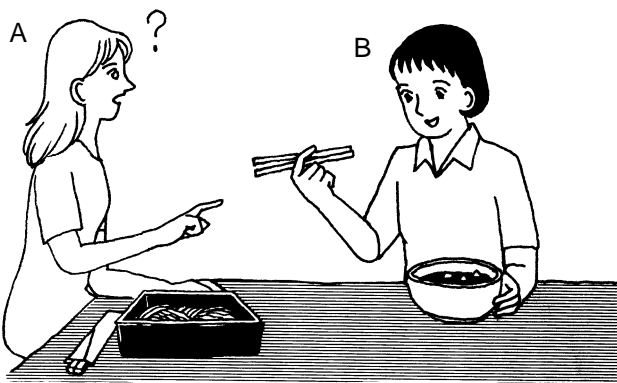
これはだれの辞書ですか。

B: <sup>なかやま じしょ</sup>それは中山さんの辞書です。

⑥ A: <sup>て も</sup>(かばんを手にとって)

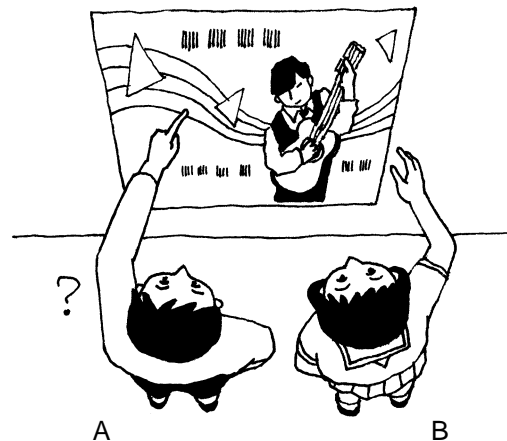
<sup>きむら</sup>木村さんのかばんはこれですか。

B: いいえ、あれです。



例文 ④

- ⑦ A: 田中さんの消しゴムはどれですか。  
 B: それです。
- ⑧ A: これは何のポスターですか。  
 B: これですか。これはコンサートのポスターです。



例文⑧

解説

- A. 「これ/それ/あれ」は特定されたものを指す。(例文①～⑧)
- B. どれかわからないものについて聞くときは、「どれ」を使う。(例文⑦)
- C. 話し手と聞き手が相対する状況で、「これ/それ/あれ」は[図1]のような関係になる。  
 (例文④⑤⑥⑦)
- D. 話し手と聞き手が同じ領域にいる状況で「これ/それ/あれ」は[図2]のような関係になる。  
 (例文⑧)

先生へ

「これ/それ/あれ」は指示詞。  
 指示詞のまとめは、巻末「2. 指示詞」(p.259)を参照。

<p><b>【関連項目】</b></p> <p>語-03 この/その/あの</p> <p>語-04 ここ/そこ/あそこ</p> <p>語-09 こそあど</p>	<p><b>【「れんしゅう編」の練習】</b></p> <p>2-5 それは何ですか</p>
--	--